

■ 特別会計の決算

特定事業の歳入歳出を、一般の歳入歳出と区別して個別に会計処理しています。

【前原市】

事業名	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	5,895万円	4,462万円
国民健康保険事業	74億3,042万円	73億6,697万円
老人保健医療	6億7,697万円	5億6,554万円
介護保険事業	33億 453万円	32億3,216万円
後期高齢者医療	5億 577万円	4億8,710万円

【二丈町】

事業名	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	206万円	188万円
国民健康保険事業	15億5,874万円	15億5,633万円
老人保健医療	1億5,939万円	1億5,612万円
後期高齢者医療	1億4,117万円	1億4,045万円
福吉財産区	45万円	39万円
一貴山財産区	33万円	32万円

【志摩町】

事業名	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	119万円	119万円
国民健康保険事業	22億2,667万円	22億2,335万円
老人保健医療	2億5,794万円	2億3,800万円
後期高齢者医療	1億5,147万円	1億4,919万円
渡船事業	7,388万円	6,416万円
漁業集落排水事業	1,254万円	1,254万円
公共下水道事業	9,036万円	8,686万円

■ 公営企業会計の決算

地方公営企業法に基づいて独立して事業を行っています。

【前原市】

事業名	収入	支出
上水道事業	10億4,749万円	12億2,426万円
下水道事業	44億4,736万円	47億9,730万円

【二丈町】

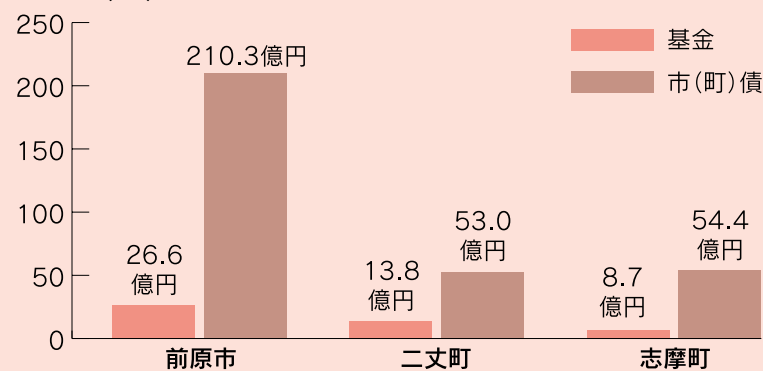
事業名	収入	支出
上水道事業	2億 990万円	2億4,262万円

【志摩町】

事業名	収入	支出
上水道事業	3億1,121万円	3億9,585万円

※収益的経費と資本的経費を合わせた総額を掲載しています。
 ※公営企業会計の収入額が、支出額に対して不足する場合は、積立金などで補っています。

■ 市(町)債と基金の状況



前原市

180億840万円
 市民1人当たり260,170円
 (H21.3.31人口69,218人)

民生費 65億4,075万円
 市民1人当たり94,495円

衛生費 22億7,485万円
 市民1人当たり32,865円

公債費 24億2,655万円
 市民1人当たり35,057円

教育費 13億7,674万円
 市民1人当たり19,890円

農林水産業費 6億9,508万円
 市民1人当たり10,042円

土木費 5億2,179万円
 市民1人当たり7,538円

その他 41億7,264万円
 市民1人当たり60,283円

歳出

民生費

福祉・保健・医療などに使うお金。
前原●後期高齢者医療特別会計繰入金や私立保育所運営委託料の増加などにより、対前年度比1億9379万円(3・1%)の増額です。

教育費

学校や図書館、博物館、体育館などに使うお金。
前原●中学校給食施設整備事業の完了などにより、同3億4628万円(20・1%)の減額です。

衛生費

ごみ処理やし尿処理などに使うお金。
二丈●定額給付金や私立保育園運営委託料の増加などにより、同1億9708万円(18・8%)の増額です。

農林水産業費

農林水産業の振興などに使うお金。
前原●農業集落排水事業特別会計の企業会計移行などにより、同1億2082万円(14・8%)の減額です。

公債費

施設を造るときなどに借りたお金の返済金。
二丈●荒廃森林整備工事や福吉漁港整備工事などの増加などにより、同7825万円(30・5%)の増額です。

土木費

道路や公園などを整備するお金。
志摩●姫島漁港運搬施設事業補助金や土地改良事業借入金償還元利補給金の減少などにより、同6357万円(17・0%)の減額です。

市(町)債と基金

前原市の市債と基金
 市債残高は、17年度をピークに減少しています。

二丈町の町債と基金

町債残高は、16年度をピークに減少しています。
 なお、20年度決算では、前年度と比較して3億292万円減少しています。

志摩町の町債と基金

町債残高は、16年度をピークに減少しています。
 なお、20年度決算では、前年度と比較して2億3769万円減少しています。一方、町の貯金ともいえる基金の残高は、前年度と比較して2850万円増加しています。

